



2025年4月9日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤原 宏樹  
(コード番号 6573 グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 野口 敦司  
(TEL. 03-6435-7130 (代表))

### 新たな事業（暗号資産投資事業）の検討にかかる暗号資産（ビットコイン）の試験的購入に関するお知らせ

当社は、新たな事業（暗号資産投資事業）について検討をしておりましたが、本日開催の取締役会において、その実証のため試験的に1,000万円の暗号資産（ビットコイン）を購入することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 新たな事業（暗号資産投資事業）の検討及び試験的購入の理由

当初懐疑的な見方が多かった暗号資産は、今やデジタル通貨としての存在感を高めており、特にビットコインにおいては、決済手段のみならず一部の国では法定通貨に採用されるなど、金融市場における地位を確固たるものとしています。

今では単なる投機的な資産ではなく価値を確立しつつあり、短期的な調整はあっても継続して成長を続けていることがわかります。

当社はビットコインにおける上記の現状を踏まえ、新規事業として投資に値するのかが等を勉強するために、試験的に購入をし、実証を行うことといたしました。

##### 2. 暗号資産購入

- (1) 購入する暗号資産：暗号資産1銘柄（ビットコイン）
- (2) 購入金額：1,000万円（自己資金）
- (3) 購入期間：2025年4月から2025年9月

実証期間としては（3）の半年間としており、外部アドバイザーの他、社内の意見も踏まえ、投資のタイミングやその際の投資金額を決定し購入をいたします。購入後は、日々値動きをチェック・報告を行い、急激な価格変動等があった場合には、外部アドバイザーを交えたミーティングにより今後の対応を確認してまいります。

また、リスク管理の観点から損失は社内で判断したロスカットルールにより投資金額の30%までとし、そのルールに抵触した際には撤退をいたします。

なお、購入金額を 1,000 万円としましたのは、現状の当社における資金繰りを考えた上での妥当な金額と判断したこと、また、事業化の目的であるファンコミュニティに関連する事業とのシナジーを図っていく際には、ある程度のビットコインの購入が必要となってくるため、あらかじめその想定をし、取引に習熟することをも視野に入れ、この金額といたしました。

なお今回の購入にあたっては、外部アドバイザーを 1 名導入します。アドバイザー費用は月額 150 千円の契約となっております。

### 3. ガバナンス強化委員会の検討状況

本新規事業の検討にあたり、当社は、当社のガバナンス強化委員会において上記の説明を行いました。これを受けて、ガバナンス強化委員会から、下記のような点について取締役会にて追加で説明が必要な旨、ご指摘いただきました。これに対して当社としてご指摘に対する回答・説明を行い、その上で取締役会の議案として上程いたしました。

以下指摘となります。

ビットコインの購入理由について、「この分野についての勉強を今からでもしておかないと会社にとって将来的な機会損失」「将来的にその技術・文化・経済圏の中で動けるポジションを今のうちに深く勉強させてもらいたい」とのことですが、暗号資産へのトレーディング経験やトレーディングに関するアドバイザーからの助言を Web3 事業として活用することは合理性が無いように思います。あくまでも資産運用の知見が獲得できるといった点のみかと思われます。

「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」でも収益力の向上への取り組みとして、アンバサダー事業、製造販売業、小売業での売上向上をあげられていました。現在の会社の状況として、短期的な収益黒字化を実現することが喫緊の課題であるところ、このような投機とも取られかねない価格変動の大きく取引所や法整備が未成熟の資産への投資が経営方針に合致していましたでしょうか。購入後の時価を日に複数回確認・報告、関連ニュースや経済指標の確認により価格変動要因を分析するとのことですので、始めるとなるとかなりのリソースを割かれることになるかと思えます。この点、他の新規事業への集中不足となりませんかでしょうか。

#### 【回答】

今回の購入は暗号資産へのトレーディング経験やトレーディングを学びたい訳ではございません。

Web3・NFT・DeFi（分散型金融）の発展により金融・ゲーム・エンタメ分野で新たなビジネスモデルが生まれている。

単なる投機ではなく、金融・経済・テクノロジーの変化によって、暗号資産が「今」必要とされる環境が整っていると思われる。やみくもに仮想通貨を買おうという話ではなく、あくまで戦略的に考えたときにこの分野についての勉強を今からでもしておきたい。会社のモットーでもある【「世界中の“好き”を加速する」わたしたちは、人々が生み出す“好き”という気持ちやユニークなアイデアを大切に、その価値を世界に流通させることで「小さな経済」を成長させ続けます。】

まずは自分たちがしっかりと勉強しないといけない事業になるので信頼性のあるビットコインを購入して役員、従業員含め知識を更に深めるために購入したい。

将来的にその技術・文化・経済圏の中で動けるポジションを今のうちに深く勉強する機会としたい。

以上、ガバナンス強化委員会よりご意見ご指摘を頂いた上で、本件を取締役会の議案として上程する理由は、当社が今後の事業戦略においてデジタルアセットの活用を視野に入れていること、また、試験的購入という限定的な範囲

において、実際の運用・管理体制やリスク対応の検証を行う必要があると判断しているためです。

本件を通じて得られる知見や課題は、暗号資産の取り扱いに関する社内基準の策定にも資するものと考えております。そのため、委員会からのご意見を真摯に受け止めたうえで、より慎重かつ透明性の高い運用を図る前提で進めていきたいと思っております。

#### 4. 業績に与える影響

保有する暗号資産につきましては、四半期ごとに時価評価を行い、その評価損益を損益計算書に計上いたします。今後、連結業績に影響が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以上